

一般財団法人京都ボーイスカウト振興会
平成 25 年度（平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日）
事業報告

1. はじめに

平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日までの会計期間は、新一般財団法人における 2 回目の事業報告となります。

一般財団法人の新体制のもと、(1)ボーイスカウト行事等に対する助成協力事業、(2)青少年の育成を目的とした自然体験活動のためのキャンプ企画事業、(3)指導者養成のためのプログラム企画運営事業、(4)国際交流・国際貢献活動、社会に役立つ事業活動、環境・まち美化活動のための共催事業、(5)ボーイスカウト運動の振興及び普及宣伝事業を実施しました。

平成 25 年度は、ボーイスカウト行事等に対する助成協力事業として、日本ボーイスカウト京都連盟（以下「京都連盟」という。）が行う第 16 回日本ジャンボリーへの助成協力 1,000 千円を含め、合計 2,300 千円の助成金を支出しました。

また、国際交流・国際貢献活動として、平成 25 年 11 月 26 日から 30 日において、世界スカウト財団名誉総裁カール 16 世グスタヴ・スウェーデン国王の入洛による、第 66 回ワールドベーデン・パウエル フェロシップ晩餐会の後援団体として、地元京都地域からの招待者を含めて 160 名を超える方々のご参会に関して協力を行うとともに、最終日に下賀茂神社境内「紵の森」で開催された京都連盟創立 100 周年スカウトラリーをサポートし、グスタヴ名誉総裁以下 BP フェロシップメンバーをお迎えし、京都のスカウト達との交流を成功裡に終えることができました。

さらに、指導者養成のためのプログラム企画運営事業においては、平成 26 年 3 月 9 日に、「京都スカウト活動報告会 2014－青少年のためのリーダーシップトレーニング」と題して、スカウト自身が体験と夢を語り、ボーイスカウト活動についてプレゼンテーションを実施し、主催者として参画しました。スカウト関係者のみならず一般の方々にも多数ご参加頂きました。

当法人が所有する広河原野営場は、19 日間、のべ人数 459 名の使用実績となりました。

2. 事業報告の内容

(1) ボーイスカウト行事等に対する助成協力事業

(ア) 助成の対象

京都府下において、ボーイスカウト運動の趣旨を理解し、組織的にボーイスカウト運動を行う団体として、京都連盟を助成対象とした。

(イ) 助成の趣旨・用途

ボーイスカウト運動にかかる講習・実修・研修・キャンプに要する経費、世界ジャンボリー・日本ジャンボリー・京都キャンポリー及びベンチャースカウト大会へのスカウト派遣に要する経費その他ボーイスカウト運動に欠くことができない重要な行事のために必要となる経費

(ウ) 事業実績

事業費として、2,300 千円を支出した。この内、1,000 千円は、第 16 回日本ジャンボリー開催に伴う事業費に対する助成である。京都連盟では、日本ジャンボリーへ 366 名を派遣した。残額の 1,300 千円は、京都連盟の進歩費、国際費、安全費、環境費、コミッショナー費、

イベント費、ボーイスカウト講習会及びウッドバッジ実修所・研修所運営費等に必要となる事業費の一部に対して助成した。

(参考) ボーイスカウト講習会の実施状況

名称	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回
日程	4/7	6/23	10/20	11/24	1/19	3/16
会場	中止	宇治市 中央 公民館	西京 区役所	舞鶴市 中総合 会館	井出町 大正池 グリーン パーク	上一条 集会所

(参考) ウッドバッジ実修所・研修所の実施状況

名称	WB 実 BVS 京都 第36期	WB 研 BS 京都 第34期	WB 研 VS 京都 第8期	第1回 安全 セミナー	第2回 安全 セミナー
期間	5/3~6	5/3~6	5/3~6	6/2	1/20
会場	京都市静原 キャンプ場	舞鶴グリーン スポーツセンター	友愛の丘	京都連盟 会議室	京都連盟 会議室

(2) 青少年の育成を目的とした自然体験活動のためのキャンプ企画事業

(ア) 体験活動の所在地：

広河原野営場：京都市左京区広河原尾花町 27 番地

(当法人所有：山林 22, 559 平方メートル、原野 521 平方メートル)

(イ) 体験活動の運営主体：京都連盟

(ウ) 体験活動に参加が予定されている対象者：青少年の育成を目的とした組織団体に無償提供

(エ) 体験活動に参加した対象者、使用月日、使用人数等

対象者・使用者等	使用月日	使用人数	備考
山開き	4/6-7	48	サポート委員会
野営場整備	7/13-14	40	サポート委員会
京都 12 団	8/10-12	60	BS 隊
京都 38 団	8/12-18	140	BS 隊
京都第 29 団	9/21-23	45	BS 隊
冬こもり	11/30-12/1	28	サポート委員会
京都第 58 団	2/1-2	28	RS 隊
長岡第 4 団	2/8-9	22	RS 隊
京都第 68 団	2/15-16	48	BS 隊
合計	19 日	のべ 459 名	

(オ) 事業実績

広河原野営場建物の減価償却費 80 千円・固定資産税 4 千円が主な費用実績である。

(カ) 広河原野営場近隣における舎営施設土地建物の取得について

現在、広河原野営場の近隣に舎営施設土地建物を取得又は賃借すべく、所有者との協議を継続中である。

(3) 指導者養成のためのプログラム企画運営事業

(ア) 趣旨：青少年の育成を指導する人としての素養を涵養するために、企業人、教育者等の有識者を講師に迎え、青少年の育成を指導する立場にある一般の参加者に対して、講演会を実施するものです。

(イ) 本年度は、青少年のためのリーダーシップトレーニングの場として、「京都スカウト活動報告会 2014」という形式で、スカウトのロールモデル的な活動にチャレンジした者に活動発表の場を提供しました。

○内容： 下記のテーマで各スカウトから取り組んだ活動内容と成果について報告し、会場に参集頂いた方との質疑応答を行うとともに、最後に主催者を代表して、荒巻禎一 B S 振興会理事長から、ご講評を頂戴した。

○開催日時： 平成 26 年 3 月 9 日（日）15 時～17 時

○参加者： 青少年及び育成指導者を中心に参加

○講演会事業費実績： 事業費として、約 6 0 千円（会場費他）を支出した。

○発表内容：

①個人の進歩への取組（富士章受章スカウトの報告）

自ら進んで課題に挑戦し、達成の証にバッジを着用するのはスカウトメソッドの醍醐味であり、そのバッジの最高峰が富士章です。晴れある富士章の受章者が、「各人の富士章への道のり」を語りました。

② 国際交流（海外派遣スカウトによる体験）

外国に友だちをつくろう。友だちとは争わないから、その国とは戦争をしない。スカウトの友情を広げれば世界は平和に… 肌で感じた世界の多様性と、その尊び方の実践例を紹介した。

③ 大学生年代の活動（ローバースカウトメンバー京都ユースネットワークの活動紹介）

昨秋の世界スカウト財団名誉総裁グスタフ・スウェーデン国王を迎えた京都大会の運営協力や、「ありがとうプロジェクト」などでますます存在感の高まる若者集団。

(4) 国際交流・国際貢献活動、社会に役立つ事業活動、環境・まち美化活動支援のための共催事業

(ア) 国際交流・国際貢献活動支援

世界スカウト財団第 66 回 BP フェロシップイベントが 11 月 26 日から 30 日に京都にて開催。世界スカウト財団名誉総裁カール 16 世グスタフ・スウェーデン国王の入洛による、第 66 回ワールドベーデン-パウエル フェロシップ晩餐会の後援団体として、地元京都地域からの招待者を含めて 160 名を超える方々のご参会に関して協力を行うとともに、最終日に下賀茂神社境内「糺の森」で開催された京都連盟創立 100 周年スカウトラリーをサポートし、

グスタヴ名誉総裁以下 BP フェロシップメンバーをお迎えし、京都のスカウト達との交流を実施。事業費として、189 千円を支出した。

(イ) 社会に役立つ事業活動支援

一般青少年を対象にした青少年元気サポート事業、全国都道府県対抗女子駅伝競走大会、全国車いす駅伝競走大会、視覚障害者マラソン京都大会の沿道整理奉仕

(ウ) 環境まち美化活動支援

「みどりの募金」活動、京都市「まち美化運動」に参加

(4) ボーイスカウト運動の振興及び普及宣伝事業

(ア) 地域の不特定多数の青少年に対するボーイスカウト運動の普及宣伝を図る事業として、ホームページを通じて、スカウトの日（ゴミ拾い等の奉仕活動を実施する日）等に地域の青少年の参加を促す。

(イ) ボーイスカウト・指導者等のボーイスカウト関係者、維持会員、並びに不特定多数の皆様に対して、ホームページを通じて、当法人の事業計画等・京都連盟の事業計画等を適時に適切な範囲でディスクローズし、健全な運営を行う。

(ウ) ボーイスカウト運動の振興を図るために維持会員及び潜在的な維持会員に対して、ホームページを通じて、会費の協力を依頼する。

(エ) 事業費実績

事業費は、504 千円（普及宣伝費 24 千円、ホームページ運営改革費 378 千円、通信運搬費 34 千円、印刷製本費 38 千円など）を支出した。

3. 財源の確保（賛助会費の入金状況）

賛助会費の入金内訳は以下の通りです。

金額	会員数	合計
10 千円	52 人	520 千円
20 千円	14 人	280 千円
30 千円	38 人	1,140 千円
50 千円	5 人	250 千円
合計	109 人	2,190 千円

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
賛助会費	2,680 千円	2,230 千円	2,310 千円	2,190 千円

賛助会費の受取会費合計の推移については、平成 24 年度は 12 ヶ月換算では 2,310 千円に増加したものの、平成 25 年度は、2,190 千円と前年度比 120 千円の減少となった。

引き続き、役員の方には、21 世紀を担う青少年の健全な育成の場としてのボーイスカウト運動を、地域社会の方々の認識を高めるのにご尽力をいただき、広く財政的援助を頂戴していただけるように努力して頂き、維持会員数の拡大に一層のご協力をお願いする次第であります。 以上